

ワットさんの今日の一首(2020年)

喪失といわない片胸そっと秘め 四十余年を凜と生きけり (1/1)

主導権 がんごときには譲るまい 手綱離さずおのれを生きる (1/8)

四六時中何か気になりわからずに 年を取るとはうろたえること (1/16)

去り際に忘れ物なきか問われたら 吸殻ぐらいと答うればよし (1/23)

2030 (2ゼロ3ゼロ) 冬季五輪の開催地 今から騒ぐな吾亡き後のこと (1/30)

露のとう今年も天ぶらしみじみと 一人で生きる意味を見つけん (2/7)

変貌す 90歳の友見舞い来て 10年後のわれや紅梅に聞く (2/13)

ランバダを踊りし日もあり公園に 月日戻らず君も戻らず (2/20)

今生の別れ告げえず「また来るね」この嘘許せしらじらしくも (2/28)

満州の記憶なけれどちちははよ 大陸の血がわが身を駆ける (3/6)

詠みたまえ鎮魂のうた亡き友へ 悲しみの中悲しみ癒さん (3/12)

生きてまたこの花見ぬかがんのあと 命の確証往く春に問う (6/4)

いとしきは我を見上ぐる雀っこ 別れ惜しんであと追いかたる (7/31)

消してほし我が百の悔いそのすべて 聞かぬふりして百日紅逝く (8/25)

笑み惜しみ目伏せ気まずく擦れちがう 日本人われ狭量の民 (9/30)

AW (エー・ダブリュー) 頭文字あり眼鏡入れ

T (ティー) 書き足して亡夫と添い寝 (10/9)

百までも生きたいのなら曼殊沙華 朝焼け空にそっと伝えん (10/26)

死に場所を選べるのならハワイ沖 水上スキーの手を離れたとき (11/11)

短くも悔いなしと逝く友のセーター 着る寒風よ吹けもっと吹け (12/18)

